

| | | | |
|--------|---|-------|-----|
| プログラム名 | 2040年に向けた名古屋の街づくり | 認定CPD | 2単位 |
| 開催日 | 2018年3月7日（水） 17:30～19:00 | | |
| 開催場所 | 名古屋市中区丸の内1-15-15 桜通ビル6F (株)伊藤建築設計事務所 LECホール | | |
| 講師 | 名古屋工業大学大学院 建築・デザイン分野 准教授 伊藤孝紀 氏 | | |
| 担当理事 | 企画委員会 理事 成田益美 | その他 | |
| 参加者 | NSK会員およびその所員 計33名 CPD参加24名 | | |
| 備考 | | | |

名古屋工業大学大学院准教授 伊藤孝紀先生を招き、『2040年に向けた名古屋の街づくり』と題してクリエイティブによる建築・デザインの役割についての講演会を開催した。

名古屋圏では、2027年のリニア中央新幹線開通に向けて、大規模再開発からエリアマネジメントによる街づくりまで活気に満ちている。しかしゴールは2027年ではなく、点から線、面となるよう未来につながる戦略と役割を考えたい。を主題とし、名古屋圏の都市デザインの提言として、リニア開通の2027年から更に将来（2040年）を見据え、名駅周辺、栄周辺の点・線から面への広がりのある名古屋の都市デザインの計画を図っているところである。伊藤先生は、「名古屋駅エリアにおける駅前広場及び乗換空間等」の西側エリアのデザイン事業者に選定もされており、この事業の概要、プレゼン内容も織り込みながらデザインの説明もされた。

街づくりのデザインとして、街づくり戦略の4つの手法 1.デザイン（design）、2.マネジメント（management）、3.クリエイティブ（creative）、4.ブランディング（branding）について、その手法を写真・図を交えながら説明をいただいた。街づくりから建築物及びその施設運営からの内外装、パンフレット、衣服、メニュー表、名刺などまでを、トータルにプロデュース、デザインすることの重要性について、単に形だけでなくソフト面も大きなファクターとしてのデザインが重要であると。これからのデザインは、エクスペリエンスなデザインが求められる。

これら基本的な戦略としての手法を実務の実例と体験を交えながら、多くの写真にて講演時間90分間、熱気の入った説明をしていただいた。

講演会は終始熱気と緊張感ある雰囲気の中行われ、参加者の関心や期待の高さもうかがわれた。

次回はその2040年に向けた名古屋の街づくりの提言についての講演を期待したい。

講演会終了後は懇親会にて、講師を囲み また参加者相互との意見交換と親睦を深めることができた。

